

神戸ヒヨコ登山会 会員の皆様、ご家族の皆様

あけまして
おめでとうございます。

令和六年 辰年 元旦



(2014.10 鳴沢村紅葉台から青木ヶ原樹海と富士山)

未来へ引き継ぐ 羽ばたけヒヨコ！

会 長 園 田 和 三

昨年総会前の委員会において、吉野現名誉会長より会長職を仰せつかり、「なんで私が？」と思ったものです。ずっと“頼むで、頼むで”とおっしゃられてはいましたが、「まあ誰かがやってくさるだろう」という程度の感じでした。

大病の後のこの十年の私はヒヨコの裏方としては活動しておりましたが、大きな例会以外は参加できない状況でした。まだ現役であるため、休日の裏方作業が精いっぱい、なかなか山で楽しむ時間がもてなかったと感じています。その裏方作業での仲間との会話や作業、そして2次会が私の仕事ストレスの発散場所でありエネルギーであったと思います。

吉野前会長の指示のもと、100周年行事を前役員の方々と進めてきて完了し、ほっとしたのも束の間、この重責を受け止めなければなりませんでした。

押しつぶされそうにもなり、逃げだしたくもあり、泣きたくもなり、、、そんな中、背中を押してくださるのが、今まで一緒に歩いた会員の皆さん一緒にやってきた大先輩の役員の方々、そして新しく会員になられて数年後の次世代を担うであろう会員の皆さんの
“私も手伝いますよ！ 何でも言ってください！” この言葉でした。

そしてなにより吉野前会長の “まかせえ！ちゃんとしたる！” の掛け声だったと思います。そうして新役員による試運転が始まりました。

前会長より引き継いだデジタル化をより進めてまいりました。
定例行事を進めながら、まずは会員の連絡網の整備から始めました。
新役員の連絡網をメール連絡およびグループラインによる連絡網に変え瞬時の連絡網を作成、本部よりの連絡を神戸ヒヨコ登山会連絡ラインに主をおき移行させていく様進めました。
現在 112 名の方への瞬時連絡が可能となりましたが、まだ全会員の 20%、まだまだ途上ですがコツコツと広げていく所存です。
ヒヨコ全体の組織も少しずつですが、変えつつあります。
全体高齢化による支部存続がまず現れた再度支部も、前永井支部長から新しく細川晴弘支部長へ引

き継がれ今まさに新再度支部の再生が行われております。他の支部も今まで旧役員の方々の大変なご努力で成り立っていた組織をこれから新役員の手如何に引き継ぐかが私に課せられた責務であります。又、役員の方々の業務をいかに分散させ軽減させれるか、実現できるかが私に問われる最大の課題と考えます。

3つ目標を掲げました。

神戸ヒヨコ登山会会員の先輩の皆様が毎日、背山に上がられ、健康で長生きされ、上がられなくなっても楽しく仲間と暮らされるようサポートする事がまず目標の一つ目です。

次に今現役の新会員の方々が先輩諸氏の後を追ひ、楽しく山歩きをやりながら、トレーニングとして、毎日登山へ移行していただけるようにするのが2つ目の目標です。

3つ目は役員の方々の楽しみです。ボランティアによる役員の方々は家庭など多くの犠牲を強いられます。先に述べたようにできる限り作業を分散軽減しシステム化できるようにできる限りの努力をいたします。

やりがいは楽しいものです。役員一同で楽しんで、会員からの「ありがとう」を力に頑張ります。

吉野前会長が掲げられた「**和と絆 永遠に**」を 守り続け、どこまでできるかわかりませんが新体制役員一同にご期待ください。

今年一年も皆様にとってより良いお年でありますように

期待を背に、村のお年寄りをまじめに手伝う蛸取り山のソソチ

